

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立八潮南高等学校		Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校として目指す方向が明確に示されている学校像である。学校の置かれた状況や課題を的確に把握し、普通科・商業科・情報処理科の三学科からなる学校の特色を踏まえた適切かつ明瞭なものが設定されている。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	学校の取り組むべき方向が三つの柱として設定されている。やや網羅的な目標となっているため、中期的な視点から、課題の解決に向けて検討・整理して更に目標の重点化を進めることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	重点目標の達成に向けて必要な評価項目が挙げられている。分掌・学年・教科等で検討される方策等を学校全体のシートへフィードバックしてより具体性のある目標にするなど、相互の連携を図る組織的な体制を整備していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	部活動の活性化と学校行事の改善に向けた取組など様々な方策が実施され、具体的な成果も上がっている。評価指標がやや抽象的であるので、取組指標と成果指標をうまく組み合わせ、教職員間で目標の達成イメージが共有できるような分かりやすいものを設定することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状を踏まえた学校経営の方針を持ち、取り組んでいる。校長の的確なリーダーシップの下、学校自己評価システムを生かし、教職員が共通理解を深め、課題解決に向けて組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケートなどを実施し学校自己評価のための情報が収集されている。学校関係者の意見やアンケートの結果等を丁寧に分析・考察して、達成状況や課題を把握し、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。	
特記事項			